

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公開番号】特開2006-237928(P2006-237928A)

【公開日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-035

【出願番号】特願2005-48351(P2005-48351)

【国際特許分類】

H 04 R 3/00 (2006.01)

H 03 F 3/68 (2006.01)

H 04 S 5/02 (2006.01)

H 04 S 7/00 (2006.01)

【F I】

H 04 R 3/00 310

H 03 F 3/68 B

H 04 S 5/02 J

H 04 S 5/02 Y

H 04 S 7/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

多チャンネル再生モードと2チャンネルステレオ再生モードとを選択的に切換可能なAVアンプに用いるパラレル駆動バイアンプ切換回路であって、

PWM方式の第1の増幅器と、

PWM方式の第2の増幅器と、

前記第1の増幅器に接続する第1のスピーカと、

前記第2の増幅器に接続する第2のスピーカと、

遅延回路とを備え、

多チャンネル再生の時は第1の信号源の信号を前記第1の増幅器で増幅して前記第1のスピーカの端子に出力し前記第2の信号源の信号を前記第2の増幅器で増幅して前記第2のスピーカの端子に出力し、

2チャンネルステレオ再生の時は第1の信号源の信号を前記遅延回路を介して前記第1の増幅器で増幅して前記第1のスピーカの端子に出力すると共に前記第1の信号源の信号を前記第2の増幅器で増幅して前記第1のスピーカの同一端子に同一入力信号のタイミングを一致させることなく出力するように構成した事を特徴とするパラレル駆動バイアンプ切換回路。

【請求項2】

多チャンネル再生モードと2チャンネルステレオ再生モードとを選択的に切換可能なAVアンプに用いるパラレル駆動バイアンプ切換回路であって、

入力端子を第1の信号源にスイッチを介して接続し出力端子を第1のスピーカの端子に接続するPWM方式の第1の増幅器と、

入力端子を第2の信号源にスイッチを介して接続し出力をスイッチを介して前記第1のス

ピーカの端子に接続するかまたはスイッチを介して第2のスピーカの端子に接続するPWM方式の第2の増幅器と、

前記第1の信号源と前記第1の増幅器の入力との間にスイッチを介して接続された遅延回路と、

前記第1の信号源と前記第2の増幅器の入力との間にスイッチを介して接続された信号経路とを備え、

前記各部に配置された複数のスイッチの切換によって、

多チャンネル再生の時は第1の信号源の信号を前記第1の増幅器で増幅して前記第1のスピーカの端子に出力し前記第2の信号源の信号を前記第2の増幅器で増幅して前記第2のスピーカの端子に出力し、

2チャンネルステレオ再生の時は第1の信号源の信号を前記遅延回路を介して前記第1の増幅器で増幅して前記第1のスピーカの端子に出力すると共に前記第1の信号源の信号を前記第2の増幅器で増幅して前記第1のスピーカの同一出力端子に同一入力信号のタイミングを一致させることなく出力するように構成した事を特徴とするパラレル駆動バイアンプ切換回路。

【請求項3】

増幅器は3個以上であり、遅延回路の数は増幅器の数より1個少ないものである請求項1記載のパラレル駆動バイアンプ切換回路。

【請求項4】

前記信号源となるデコーダと、

前記複数のスイッチのオン、オフを制御するコンピュータ装置と、

前記コンピュータ装置に指示を与えるモード選択部とをさらに備えた請求項1から3のいずれかに記載のパラレル駆動バイアンプ切換回路。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

このドルビーサラウンド方式は、フロント3チャンネル、リア1チャンネルの構成であり、サラウンドプロセッサ回路21は、入力する左右2チャンネルのステレオ再生信号L, Rを基に、内部ロジックによりフロント用の左右出力F_L, F_R(ステレオ)、リア用の左右出力R_L, R_R(モノラル)、センター出力Cの計5つの出力を生成して出力する。上記5つの出力信号は、それぞれの出力回路毎に設けたパワーアンプ22₁~22₅により増幅された後、スピーカーターミナル23を通じて各スピーカ24_L, 24_R, 25_L, 25_R, 26_Cに送られ、それぞれのスピーカーをならす事により所定のドルビーサラウンド再生を行うものである。

【特許文献1】実公平6-23119号公報

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら上記の様な従来のAVアンプの場合、2チャンネルステレオを再生する時を考えると図4のようになり、増幅回路がLチャンネル用の増幅器4A、Rチャンネル用の増幅器4Cの各1つしかない為、2チャンネル時に使用しないマルチチャンネル再生用アンプ4B、4Dが余っていても何ら2チャンネル再生時の音質向上に寄与出来ないという問題点を有していた。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決する為に本発明のパラレル駆動バイアンプ切換回路は、多チャンネル再生モードと2チャンネルステレオ再生モードとを選択的に切換可能なAVアンプに用いるパラレル駆動バイアンプ切換回路であって、入力端子を第1の信号源にスイッチを介して接続し出力端子を第1のスピーカの端子に接続するPWM方式の第1の増幅器と、出力端子を第2の信号源にスイッチを介して接続し出力をスイッチを介して前記第1のスピーカの端子に接続するかまたはスイッチを介して第2のスピーカの端子に接続するPWM方式の第2の増幅器と、前記第1の信号源と前記第1の増幅器の間に挿入されスイッチを介して接続された遅延回路と、前記第1の信号源と前記第2の増幅器の入力との間にスイッチを介して接続された信号経路とを備え、前記各部に配置された複数のスイッチの切換によって、多チャンネル再生の時は第1の信号源の信号を前記第1の増幅器で増幅して前記第1のスピーカの端子に出力し前記第2の信号源の信号を前記第2の増幅器で増幅して前記第2のスピーカの端子に出力し、2チャンネルステレオ再生の時は第1の信号源の信号を前記遅延回路を介して前記第1の増幅器で増幅して前記第1のスピーカの端子に出力すると共に前記第1の信号源の信号を前記第2の増幅器で増幅して前記第1のスピーカの同一端子に同一入力信号のタイミングを一致させることなく出力するように構成した事を特徴とするものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また本発明のパラレル駆動バイアンプ切換回路は、増幅器は3個以上であり、遅延回路の数は増幅器の数より1個少ないものであることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また本発明のパラレル駆動バイアンプ切換回路成は、前記信号源となるデコーダと、前記複数のスイッチのオン、オフを制御するコンピュータ装置と、前記コンピュータ装置に指示を与えるモード選択部とを備えることを特徴とする。